

令和7年度県庁前公園花時計用花壇デザイン審査結果

令和7年度花時計用花壇デザインの審査会を2月17日（月）に開催しました。

応募作品は、934点でした。審査は下記の5名で行いました。

（応募作品934点の内訳）（審査員名簿）

- ・幼稚園保育所等：175
- ・米田雪子氏（洋画家）
- ・小学校：530
- ・名畑清信氏（元県農業技術センター農業試験場長）
- ・中学校：211
- ・酒井武史氏（（公財）花と緑の銀行専務理事）
- ・高等学校：9
- ・松下真一郎氏（元富山農業普及指導センター所長）
- ・一般：9
- ・赤井健治氏（洋画家）

なお、最優秀賞と優秀賞の表彰は、4月1日（火）県庁前公園で行う予定です。（佳作は、記念品を送付）

※花時計は老朽化のため稼働しておりません。

今後、令和8年度の改修を目指し、富山大学と協働して花時計に代わる新しい花壇の形をデザインします。（花壇内の花による図柄は、これまでどおり幅広く県民等から募集）

<審査講評>

・総評

今年の応募作品は、能登半島地震からの復興を願う作品や、富山のイメージアップにつながるテーマの作品がたくさん寄せられ、バラエティに富んでいた。

特に、県のブランディング戦略である「寿司といえば、富山」をアピールする作品が多くあった。

最優秀賞

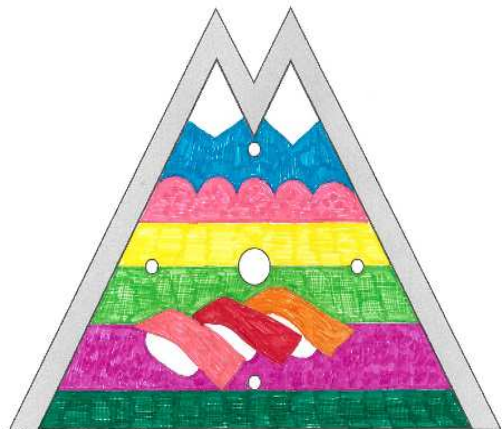
つねかわ きみこ さん
常川 喜美子 さん

富山市在住

作品：寿司といえば富山

講評：富山の自然をバックにデザインされていることによって、寿司をより一層引き立たせている。寿司と富山の自然との融合がうまく表現されている。

令和7年11月頃植栽



優秀賞

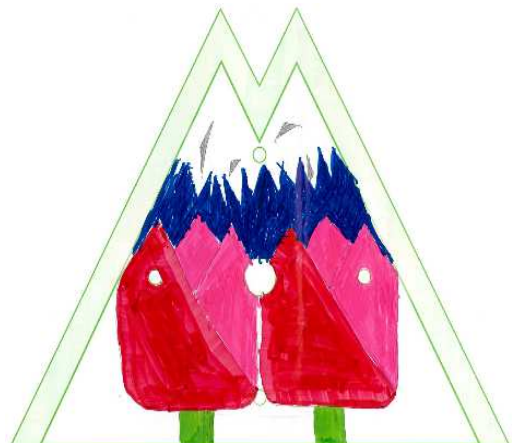
つつい ともひろ さん
筒井 智広 さん

射水市立小杉南中学校 2年

作品：富山の自然

講評：チューリップのデザインが花びらだけで単純明快に表現され、バックの立山との遠近感を感じさせられる作品である。

令和7年3月頃植栽



優秀賞

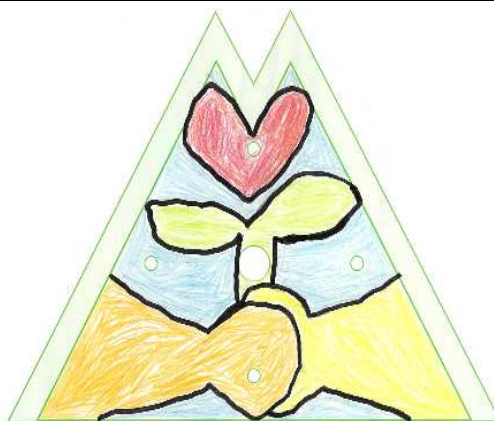
もり あやは
森 彩葉 さん

富山市立呉羽小学校 1年

作品：希望の双葉

講評：震災からの復興への願いが感じられるとともに、みんなが幸せであってほしいという想いがうまく表現されている。

令和7年5月頃植栽



優秀賞

あらし きらり
嵐 希来莉 さん

氷見市立十三中学校 1年

作品：春夏秋冬

講評：富山の四季をわずか4色でシンプルに表現したところが、インパクトがあっておもしろい。

令和7年7月頃植栽



優秀賞

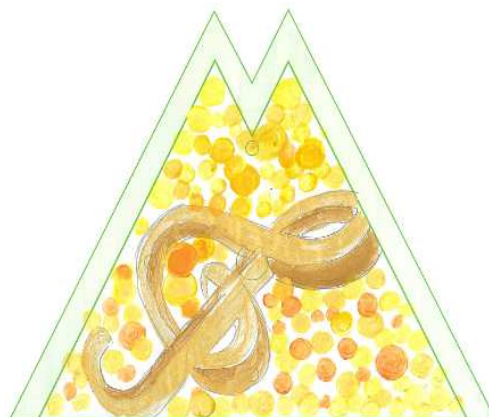
にしみや ひな
西宮 妃夏 さん

富山市立芝園中学校 1年

作品：穏やかな音色

講評：今までにない斬新なデザインで、心地よく癒されるような空間を醸し出している。

令和7年9月頃植栽



佳作

氏 名	学校名等
すぎもり ゆうたろう 杉森 優多朗 さん	富山市立熊野小学校 2年
いしい かんじ 石井 寛治 さん	富山大学教育学部附属小学校 2年
やたに あやめ 矢谷 菫 さん	魚津市立経田小学校 4年
しま みゆ 島 美結 さん	高岡市立高岡西部小学校 4年
よしだ みお 吉田 望桜 さん	小矢部市立蟹谷中学校 1年
はせがわ あかね 長谷川 茜音 さん	富山県立富山東高等学校 1年